



潮風

平成18年1月20日発行 (年2回刊)

〈教育後援会だより〉

しおかせ

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会
〒279-8550 千葉県浦安市明海8
電話 047-355-5112 FAX 047-355-2871
http://www.meikai-koenkai.com/

2005年度

地区教育懇談会

今年も、明海大学教育後援会主催の教育懇談会が9月19日から各地区で開催された。会場は、新潟・盛岡・静岡・福島・浦安市の5会場。就職懇談会も含め、約500名の保護者が参加した。

北陸地区教育懇談会

9月19日(祝) 新潟市

2005年度最初の地区教育懇談会が北陸地区でスタート。成瀬副学長、小泉不動産学部長をはじめとした教職員、教育後援会役員、保護者など約70名が参加した。



田部教授

高めていくための制度。いろいろと手を尽くした上で、それでも学生が対応してくれない場合は早急に本人が目指すところに進路を変えてもらおうというものと、社会情勢の変化に対処して大学も変わらざるを得ない実情を話し、「大学と保護者の間で協力し合いながら、よりよい学生を育てていきたい」と協力を求めた。

この後、英米語学科の田部滋教授が「こぼれ感謝」と題して講演。長い間、語学教育に携わってきた教授は、「言葉は伝達の手段であるのにもろんだが、コミュニケーションの手段でもあり、私たちは良好な人間関係をつくるために言葉と関わりを深めていくべきだ」と述べ、「会話の根底には人を信頼する気持ちがある」としながらも、使い方で相手を傷つけたら萎縮させてしまうこともあると語った。



平井教授

「財政再建には、大雑把に見積もって約10兆円の増税が必要である」と述べた。

「私たちは有権者として、3年生を対象とした就職懇談会には200人・2年生対象の関東地区懇談会にも約200人以上の参加を頂き、関心の高さを改めて認識いたしました。更に充実した懇談会を目指して内容の充実を図ってまいります。特に保護者の皆様には、是非参加して頂き大学との相互理解と信頼を深めて頂きたいと念願しております。」

今年度は、前年からの事業見直し計画(3カ年)が2年目になります。個々の事業について各分科会を設け、次年度予算に反映できるように検討しております。



多数の保護者が参加した懇談会

・明海大をもっとメジャーにしてほしいですね。地元で名前を知っている人が少ないのがさみしいです。
(英米語学科4年)

・留学という経験をさせてもらい、とても積極的な性格になって帰ってきました。おかげさまで就職の内定もいただきました。
(英米語学科4年)

東北地区(A)教育懇談会

9月23日(祝) 盛岡市

東北地区(A)教育懇談会が9月23日(祝)岩手県盛岡市で開催された。

盛岡市での開催は3回目。高倉学長をはじめ、朝日副学長(経済学部長兼務)、小泉不動産学部長、草野HT学部長ほか教職員と、保護者、教育後援会役員を含め約50名が参加した。高倉学長が大学側を代表し、「4月からホスピタリティ・ツーリズム(H・T)学部を加えて4学部体制となりまして。今日は新設のHT学部のご父母にもご参加いただきありがとうございます」とあいさつ。そして、「大学は研究機関から教育機関へと役割をシフトしている」という最近の動向を説明し、「高度専門職業人の育成を含む、幅広い職業人の養成が本学の役割と定め、就職に強い、実学志向の大学へと大きくシフトしました。現在、その実現のためにカリキュラムの充実と、

カリキュラムに基づいた教育の促進に懸命に取り組んでいます」と話した。

続いて、小泉不動産学部長が、大学の近況として、ここ数年で行ってきた本学の取り組みについて「基礎学力をつけて、自主性・創造性を持った人材を育成し、就職に有利な実践的、実学的な教育を行い、主体的な職業選択ができるような教育が、本学の目指すところ」として、その目標を実現するために産学連携や実務経験を持つ人を教師として迎えたり、資格取得を勧めるなど、カリキュラムに工夫をこらしていることを説明しました。

この後、経済学部の平井源治教授が「財政再建に向けた税制改革」と題して講演を行いました。まず、現代の租税の原則を「公平、中立、簡素」と再確認した上で、日本の財政赤字の多さを説明し、「財政再建には、大雑把に見積もって約10兆円の増税が必要である」と述べた。

「私たちは有権者として、3年生を対象とした就職懇談会には200人・2年生対象の関東地区懇談会にも約200人以上の参加を頂き、関心の高さを改めて認識いたしました。更に充実した懇談会を目指して内容の充実を図ってまいります。特に保護者の皆様には、是非参加して頂き大学との相互理解と信頼を深めて頂きたいと念願しております。」

9月5日から3日間の学友会サマーキャンプに教育後援会の役員4名と事務長が参加し、分科会にも出席いたしました。今年のテーマは「Let's Meikai University」でした。学長はじめ先生方・職員が参加し活発な意見交換がされました。学生諸君が自分のことと捉えて討議に参加している様子を見聞き、頼もしく感じられ、出された意見が反映されることを期待しております。

新年のご挨拶

明海大学浦安キャンパス教育後援会

会長 鈴木陽夫



2006年の新春を迎え、教育後援会の皆様に對して心よりお慶び申し上げます。また、日頃より教育後援会の年間事業活動にご理解を頂きありがとうございます。さて、昨年5月の評議員会以降7カ月を過ぎて、一部の経過報告を述べさせていただきます。9月12月にかけて地区教育懇談会が開催されました。北陸・東北・関東・東海地区で約500名以上の保護者にご出席頂きました。高倉学長はじめ先生方・職員・教育後援会役員等多くの方々に協力頂き心から感謝申し上げます。

今後とも学生の部活動やサークル活動支援などに視点をおいた予算化を図っていきたく思います。

事業見直し計画は、大学の益々の発展と学生生活充実の為に協力支援をしていきたいと思いますので、皆様の一層のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

て政府からさまざまなサービスを受けているが、同時に納税者として費用を負担しなければならない。それなのに、利益は自分に、負担は他人にという意識が強くなっている」として、「財政の情報開示とともに、租税については目に見える税制に、消費税なら外税にするのが望ましい」とまとめた。

個別面談

個別面談は、学科別にいわれ、学生の成績表と時間割を資料に、担当の先生から成績を中心に話を伺う。今年新設されたHT学部は、草野先生は、「新しい学部なので、ご父母のみならずはどんな学部なのか興味をお持ちのようです」と、初めてのご面談を振り返っていた。

懇親会

個人面談の後、懇親会が行われた。まず、鈴木会長が「今日は1年生の参加が多いので、2年、3年と続けて参加して、保護者のネットワークをつくっていきましょう」と、高倉学長が「面談の待ち時間の間に、みなさんと親しくお話ができ、有意義でした」とあいさつ。楽しく和やかな懇親会の場となった。

参加者の声

不動産関係の仕事をしていました。今日はいろいろな先生とお話できて、明海大学に期待が持てるようになりました。懇談会だけでなく、父母が参加できるいろいろな企画をしてほしいですね。

(不動産学科1年男子)

明海大学の名前を知らなかったのですが、不安に思っていました。今日先生方と

お会いして、いい大学に入りたいと思います。 (HT学科1年女子)

東海地区教育懇談会

10月22日(土) 静岡市

東海地区教育懇談会が10月22日(土)静岡市静岡市で開催され、高倉学長をはじめ、津野憲道事務部長などの教職員、保護者、教育後援会役員など約50人が参加した。

まず、教育後援会の鈴木会長が「日頃は親元を離れている子どもたちの生活をいろいろいい機会であると考えています。今日は大学からたくさんの方が見えなくなって、直接話ができます。短い時間ではありますが、有意義な時間を過ごしてください」とあいさつした。

次に、大学側を代表して高倉学長があいさつ。週刊「東洋経済」特集された「本場に強い大学」の記事にふれ、私立大学のランキングで、本学は財務力で5位、経営革新力で30位くらいに登場していたと紹介した。しかし、研究力、教育力、就職力の項目では50位以内に入っていないことが、このことから、「できるだけ早い時期に、研究、教育、就職

の面でも有名大学と肩を並べてランキングされるよう努力します」と話した。次に、事務部長の津野先生が、大学の近況を報告。就職に強い実学志向の大学を目指して、自己分析やキャリアプランを構築するリテラシー教育プログラムや、インターンシップや資格取得などのキャリアアップを目的とするプログラムを導入するなど、本学のカリキュラムについて、さらに、就職支援や海外研修や留学の支援、学生生活全般にわたる支援など、一人ひとりの学生に対するサポート体制の充実を図っていることを説明した。「本学は若い大学で、老舗には及ばない所もありますが、教職員一丸となってやっていますので、ご理解・ご支援ください」と話した。

全体会の最後は、今年新設されたホスピタリティ・ツーリズム学部の堀和秀教授が「良きサービス人材になること」は「すぐできる心育てること」と同じ「テーマで講演。長年、日本本航空で仕事をしていた堀教授は、これからの日本の企業



堀教授

これからの日本の企業

で働くということについて「いわゆるサービス業だけでなく、銀行やデパート教育なども含め、ほとんどの仕事はお客様という人間を相手にするわけで、これから就職する学生たちは、接客を担当する可能性が非常に高い」と予測。接客に向いているのは、①人と話すことが好きな人、②人とコミュニケーションをとることが好きな人、③人の喜びを自分の喜びにすることができる人、④人の気持ちと状況を読める人で、「日常の家族との接し方の中から訓練されるものだ」とアドバイス。また、「接客業は、仕事をしながら人間として成長でき、心の大切さがわかるべき人間を目指せる仕事です」と話した。

個人面談では、成績表などをとりに、先生から日頃の学習の様子を聞いたり、進路などについてアドバイスを受けた。個別面談を行った先生は、「健康面の問題から単位がうまく取れない学生がいました。ご両親も心配なさっていたので、必ず私のところに相談に来させるようお話ししました。離れて暮らしているだけに心配されているようでした。うまく伝わるといいのですが」と話していた。また、就職の相談コーナーでは、4年生でまだ就職が決まっていなという保護者の相談に対し、「ほとんど就職活動をしていないので、成績に不安を感じていることを遠慮なく質問してください」とあいさつして、東北地区の懇談会がスタートした。

指導のおかげで、内定をいただけた」との報告に、会場から大きな拍手がわき起こった。

懇親会

最後は懇親会。「個別面談では話しにくかったことも、この席で聞いてみてくださいます。また、おおいに東海地区の保護者同士の交流を深めましょう」と鈴木会長があいさつ後、ホスピタリティ・ツーリズム学部の草野学部長の乾杯で懇親会がスタートした。

途中、先生方の自己紹介を兼ねたスピーチがあり、授業や先生の話が聞きやすくなるように、先生方も熱心で、楽しく話していただきました。また、今回で卒業となる4年生の父母がステージに立ち、一言ずつあいさつをする場面も、「マイペースな子育てを頑張っています。先生方のこまやかなご

東北地区(B)教育懇談会

11月20日(日) 福島市

東北地区(B)教育懇談会が11月20日(日)福島市で開催された。成瀬副学長、朝日副学長のほか、教職員、保護者、教育後援会役員を含め約60人が参加した。

教育後援会の鈴木会長が、「日頃はお子さんの学業や生活などについてご心配もあろうかと思いますが、本日は大学から先生方、職員の方に来ていただいています。成績に関するご心配を、自らデジカメを持って学内を取材。パソコンを使ってスクリーンに写真を写しながら話を進めた。内容は、経済学科3年生の1日を通して、キャンパスのある新浦安の街や、キャンパスや

次いで大学を代表して成瀬副学長が「大学の特色を

金沢工業大学を視察して 就職率100%の謎を解け!

教育後援会 幹事 横山容子

「金沢工業大学」と聞いてまず私の頭に浮かんだのは、鳥人間コンテスト・大学対抗のロボコンにいつも参加している学校ということだ。特にロボコンは興味があり、毎回テレビで見ている。情報量の少ない私はそのくらいのことしかこの大学についての情報はなかったが、教育後援会の視察校を選択する際、「就職率約100%の金沢工業大学」と聞き、私の興味関心もおおいに高まり、今回興味深く視察に参加した。

大学は明日から文化祭ということで、学生が校内のあちこちで忙しそうに準備していた。大学見学の高校生が大型バスからぞろぞろ出てきて、キラキラした目で学校案内を受けていた。校舎は広大な敷地の中にいかにも工業大学と思わせる近代的な建物がずらりと並んでいた。

自由なモノづくりができる空間「夢考房」や工学基礎をいっつも何度でも学べる「工学基礎教育センター」・世界最大級の工科大学専門図書館「ライブラリーセンター」・「365日24時間オープンスペース」の自習室など学生が自ら学ぶ上で必要となるあらゆる施設・設備が整う国内屈指のキャンパスで現在工業専門校も含め約8000名が意欲的に学習・研究活動に取り組んでいる。学生には一人一台のパソコンを低価格で提供し、それを使って講義が進められる。学生の頑張ろうとする気持をしっかりと受け止める教育環境があった。

170名の大学関係者がアメリカの大学を視察し、それを基に平成7年から金沢工業大学の教育改革が始まった。各教授が明確な目的・目標を持って指導し、学生の発想をうまく取り入れ「創造的なアイデアを取り入れた教育」を進め、実社会で役立つ、生きた思考と技術を身に付けるため、考える習慣を徹底的に訓練している。教授や職員がほとんどが同大学の卒業生という愛校心たっぶりの教職員と学生の協同作業によっての教育が実現されていた。「勉強する大学」として教育の付加価値日本

組み進んでいられない教育課程の編成(授業や授業外)もしっかりとしたものであった。365日24時間利用できる自習室は管理する職員もいない中で、それぞれの学生が自覚し、汚すことなく騒ぐことなく主体的に個人やグループの課題に向かっている姿はまさに本大学が目指している「学力×人間力」自ら考え行動する技術者が育成されていると感心した。学生ばかりでなく教授にとってもなかなか厳しい職場環境になっていた。「就職の指導は教育の一環、教育の結果は就職の成果」との学長の言葉により、各研究室の教授が100%の学生を把握し、就職の責任を持つシステムになっており、とても面倒見のよい大学として外部からの評価も高い。このような日頃の学生と教授の協同作業の結果、16年度の就職率99.7%と高い内定率を達成し、半分以上が大手企業に就職したそうである。フリーターやニートがいて驚かなくなっている今の状況の中、逆に驚いた。「勉強する大学」としての付加価値と共に授業外に自分の興味関心に合ったことや夢を実現できる自由に自分を表現できる施設の充実により、金沢工業大学は学校紹介の冊子のキャッチフレーズのとおり「学生を元気にさせる大学」と感じた。そこに就職率約100%の謎を解く鍵があった。

10月に行った金沢工業大学視察の様子



2006年 新春座談会

「選ばれる大学を目指して」

少人数制で学生の個性をいかすきめ細かい指導を

本学では変化の激しい時代を生き残るために、選ばれる大学を目指してさまざまな取り組みに着手している。今回は学科学主任の先生にお集まり頂き、「選ばれる大学」となるために各学科での取り組みと、教育現場の現状について自由に話していただいた。

選ばれる大学を目指して

篠原 まず、選ばれる大学を目指して、各学科で取り組んでいることを一言ずつお願いします。

水谷 日本語学科は、1学年80人という小さな学科で、教員は9人しかおりません。でも、活動の幅をたいへん広げています。学生は海外で日本語を教える実習をしたり、夏に研修旅行や留学もします。同時に、日本語と日本の文化を身につけてもらいたいと、歌舞伎、文楽などを見に行くこともあります。学生には十分に勉強して欲しいと考えています。

就職も厳しいようすが意欲的に行っている学生は、海外でも活躍しています。良い学生に恵まれていますし、新しい年を迎え、学科の方向性は今のままでいいと思いますが、学生に対してアピールするような講演会などの催し物をもっと企画したいと考えています。

学生の英語力をつけるために、TOEIC対策講座を今年度から本格的に取り入れることにしています。1クラス15人程度の少人数制の英語のクラスも数年前から既に実践され、学生の英語力も着実に向上しています。

仕事をしている卒業生も何人かいます。また、大学や高校で教壇に立つて教えている卒業生もいます。私たち教師もほとんど、そういう場に学生たちを引っ張り出し、応援していきたいと考えています。中国語学科では、学生たちに自信をもたせるために中国語検定3級の受験を進めています。昨年11月の試験結果は、まだ十分に集計できていないのですが、今年の1年生からもかなりの3級合格者が出ています。現2年生では11月の結果を含めると、ほぼ半数の学生が3級以上の資格を取る状況がみえてきました。やればできるんですよ。ぜひ、3年生では2級に合格させて、学生たちに自信をつけさせて社会に出したいと考えています。

という基本理念に沿って、就職に強い学科、面倒見のよい学科、魅力のある講義、地元で貢献する教育を柱に取り組んでいます。まず入学後、学生たちに自信を持たせるために、ビジネス能力検定3級に挑戦させています。今年は408人が受験し265人の1年生が合格しています。学生は、自分で何かやり遂げたという経験を持っていない。資格取得を通して、挑戦すればできるということを教えた

とを考えています。次に、確かな学力を身につけるために、習熟別のクラス編成をしたり、行政の地域活性化プロジェクトに参加して参加型体験型で経済学を学ぶ機会を提供したりしています。その上で、地方公務員と地方銀行に強い学科を目指して、公務員受験支援のゼミと講座を来年度からスタートさせます。意欲と

関心があれば、そういうところに参加し、挑戦できるという仕組み作りに取り組んでいます。

前川 不動産学部は日本でひとつしかない学部で、特色のある学部なのでその特性を活かしていきたいと考えています。不動産というとイメージが暗いですが、社会経済活動の上で重要なものなんです。就職を考えても、不動産業界だけでなく、金融業や企業の財政部門でも不動産の知識は求められていて、活躍の場はいろいろあるのです。学生に自信をもってもらうために、1、2年のうちに宅地建物取引主任者の資格取得を勧めています。この試験の合格率は15%くらいで、がんばれば取れるという、成功体験とするには適当な難しさです。さらに不動産鑑定士とか、土地家屋調査士の難関の資格にも挑戦するきっかけになればいいと思います。ただ、不動産学部には法律、経済、工学、デザインなどいろいろな分野があるので、興味に合わせて選んでもらい、不動産の知識をできるだけ吸収してもらえばいいと思います。

白野 HT(ホスピタリティ・ツーリズム)学部は2005年度にスタートした新しい学部で、航空、旅行、ホテル、エンターテイメントなどホスピタリティ産業で活躍できる人材の育成を目指しています。業界で活躍できる人材を育成するために、実務家による実践教育が行われています。実社会で活躍するコミュニケーションスキルを磨くために、少人数クラスでのブレゼンテーション・ビジネスマナーを必修としています。ホスピタリティ産業では英語ができないと活躍の場はありません。単にできるというだけではなく、職業としてのコミュニケーション力が必要で、相当の実力が要です。そのためTOEIC500点クラス、600点クラス、700点クラス、800点クラスがあります。1年生で500点クラスの単位を取得できないと進級できないという

自信をもたせるために資格取得を

遊佐 中国語は大学に入ってから始める学生が大半です。大学で4年間学んでも、社会では通用しないのではないかと思われるかもしれません。優秀な学生も着実に育ちつつあるといったところ

です。

佐々木 経済学科は、幅広い職業人の育成、実学重視

という基本理念に沿って、就職に強い学科、面倒見のよい学科、魅力のある講義、地元で貢献する教育を柱に取り組んでいます。まず入学後、学生たちに自信を持たせるために、ビジネス能力検定3級に挑戦させています。今年は408人が受験し265人の1年生が合格しています。学生は、自分で何かやり遂げたという経験を持っていない。資格取得を通して、挑戦すればできるということを教えた

とを考えています。次に、確かな学力を身につけるために、習熟別のクラス編成をしたり、行政の地域活性化プロジェクトに参加して参加型体験型で経済学を学ぶ機会を提供したりしています。その上で、地方公務員と地方銀行に強い学科を目指して、公務員受験支援のゼミと講座を来年度からスタートさせます。意欲と

関心があれば、そういうところに参加し、挑戦できるという仕組み作りに取り組んでいます。



水谷信子教授 (日本語学科学主任)



原口庄輔教授 (英米語学科学主任)



遊佐昇教授 (中国語学科学主任)



理解度アップのために少人数制で

会長 卒業してすぐに社会で活躍できるように、実学を重視した教育をしていたでいていいですね。それと少人数制というこ



佐々木康史教授 (経済学科学主任)



前川俊一教授 (不動産学科学主任)



白野伊津夫教授 (HT学科学主任)



とがキーワードになっ
ていく。英語の成績
順で3クラスに分けてい
ます。少人数クラス教育、能
力に合わせた教育など、工
夫をしています。

佐々木 経済学部は人数が
多く、4年生だけでも70
0人を越えます。そこで少
人数クラスの必要性がある
のですが、英語のクラスは
うち、いくつかは授業がま
ともにできないクラスもあ
ります。前に座っているの
は数名で、あとは後ろに
座って自由に席をはずし、
時間を見計らってまた戻っ
てくる。出席をとる時間は
いるわけです。そういう学
生に対応していると授業が
進まない。しかし、前に座っ
ている学生に集中するとそ
の他大勢は、好き勝手なこ
とをしています。そこでダ
ブルチュート制といって、
2人の教員が一つのクラス
を見る試みを提案してみよ
うかと考えています。

前川 不動産学部は、基礎
科目はなるべく少人数と



鈴木陽夫教育後援会会長

いって1000人くらいで
やっています。英語の成績
順で3クラスに分けていま
す。少人数クラス教育、能
力に合わせた教育など、工
夫をしています。

佐々木 経済学部は1年生
が464名いるのですが、
1年生の基礎ゼミという必
修科目で半年間、全クラス
座席指定をしました。

学生同士の雑談は格段に減
りました。でもそれは同時
に、友達と触れあったりコ
ミュニケーションを取る機
会を奪うマイナス面もあり
ます。しかし、授業中は静
かなのでかなりの先生は座
席指定を支持しています。
大学に入っても高校や中
学と同じなのはどうかと思
います。もう少し座席指
定を続けようかと思ってい
ます。

遊佐 その点小さい学科は
いいですね。われわれは1



谷昭夫副会長

場合、食品管理ということ
も授業に入ってきますしね。
少人数制といっても、人間
関係に基づいた教育をする
ということが大事です。学
生と教師や、学生同士の人
間関係を作った上でないと
良い指導もできないと思
います。

遊佐 ちょっとはずれるか
もしれませんが、学部学科
に応じた雰囲気作りという
のも重要だと思います。例
えばHT学部には自分たち
だけの教室があり、うらや
ましく思っています。学習
効果も上がるでしょうし、
集中力も生まれます。

会長 われわれは大学の視
察で立命館アジア太平洋大
学に行ってきたんですが、留
学生が多いので語学のプ
スがありました。あれはい
い雰囲気でした。

原口 ふさわしい雰囲気と
いうのがありますからね。
明海大では、ESS(English



篠原康光副会長

人間関係が 教育の基盤

Speaking Salon) が作られ
、ネイティブの先生と英語で
コミュニケーションを取る
仕組みのようなものも作ら
れ注目されています。

遊佐 自分たちのテリト
リーという意味もあります
が、ここを作っていくのだ
という自負も生まれると思
います。

白野 アメリカの大学での
調査ですが、座席の位置と
成績にははっきりと関係が
あるということです。私が
アメリカに留学していたと
きは、前の席は取り合いて
した。それは良い成績を取
るための競争のように思え
ました。

原口 距離の取り方は人そ
れぞれあるんじゃないです
か？前に座ればよいとい
うことにはなりませんか。
でも、後ろにいれば寝てい
てもわからないと思うので
しょうが、そうじゃないで
すよね。かえって目立つん



宇田川芳子副会長

です。

佐々木 後ろの座席
に座るから悪いわけ
ではないのです。学
生を批判する前に教
員にもやるべきこと
はあるわけで、後ろ
の学生に「前へ座ら
ないんですか」と指
導する段階があった
のかどうか。教員も
考えることがある。

前川 大人数だと静かにさ
せるだけでエネルギーを
使ってしまうんですね。
100人以下だと静かで授
業がやりやすい。

宇田川 大学も保護者参観
したほうがいいかもしれ
ませんね

白野 HT学部では事前に
連絡をいただければ、保護
者に授業を見て頂いても構
わないのではないかと
話し合いがされています。
教員同士はほかの授業を見
学することはやっています。

遊佐 直接の父母による授
業参観ではないのですが、
ご子弟の中国語学科への入
学にあわせて、大学附設の
明海クラブで中国語を学習
し始めるご両親もいます。
同じ教員から教わることも
あり、子供がどのようなこ
とをしているのかよく分か
るようです。また、専任教
員の授業をビデオに撮り、
特に非常勤の先生方にこう



綿屋美知世幹事

学生に目的を 持たせるには

いう授業をやってほしいと、
参考にしてもらっています。
少人数というのは案外大変
なんです。学生たちをい
かに活性化させるかという
たえず前向きな取り組みが
必要になる。

前川 少人数だと顔が見え
るんですよ、みんながどれ
くらいわかっているか把握
できるんですが、大人数だ
とそれができないんですね。

水谷 留学生は大勢来てい
ます。言葉の問題で日本人
と同じ授業はなかなか難し
い学生もいますが、よく頑
張っていると思います。

という授業をやってほしいと、
参考にしてもらっています。
少人数というのは案外大変
なんです。学生たちをい
かに活性化させるかという
たえず前向きな取り組みが
必要になる。

いというのが出てくるので
はないかと思っています。

遊佐 学生に「やりたいも
のを見つけてください」と言
うだけで事足りたとするわけ
にはいかないのではないで
しょうか。きっかけになる
ものを置いておくような仕
掛けがあってもいいと思う
目標を出しておいて、ここ
を目指してみようと先に示
しておくのもいい。そこを
目指すことで方向感も出て
くるし、自信もついてくる。
まず、短い距離を目標し
て到達感を味わうと、「やり
たいものはこれだった」と
気づく。それでいいのだと
思います。

原口 自分で目的を見つけ
られる学生もいます。蓮如
が「人をみて法を説け」と
言ったのと同様、人によっ
て教育の方法が違うべきだ
と思います。

前川 でも、何もやってい
ない学生には、やりたいも
のを見つけてくださいですよ。
遊佐 走らないなら、押し
てあげてもいいと思う。走
るのを待っていて、走らな
い学生もいますから。

会長 目標は先に言っ
ていたのではないかと思っ
ていました。

前川 今は何でも豊かで、
これをやりたいものを求め
なくても楽しく生きられる
環境があるから、意識しな
いと見つけられないので
しょう。

遊佐 卒論のテーマを見つ
けるのなかなか大変なん
ですよ。でも少し水を向け
てあげると、「あ、これを
やりたかったんだ」という
ことになる。大学生がこれ
でいいのかなと思うけれど、
それでも飛躍してくれる子
はいますから。

範囲が狭まっています。昔
なら器用な子は「大工にな
る」でよかったが、今は機
械を使えば誰でもできてし
まう。制約の中でやりたい
ことを見つけてあげないと
いけなくなってしまうとい
います。昔は自分の得意分野
を活かして、どういう職業
についても、今よりもっと
胸を張れたように思います。

会長 こんなにいろいろな
少人数教育が行われている
のを初めて知りました。き
め細かい教育をしないと、
学生が育っていない状況
を教えてください、教育後援会
もまだ協力できる部分
があるのではないかと考えま
した。今日はどうもありが
とうございました。

(取材/2005年12月15
日 新浦安オリエンタルホ
テルにて)

【対談者】
水谷信子教授
(外国語学部)
原口庄輔教授
(外国語学部)
遊佐昇教授
(英米語学科主任)
佐々木康史教授
(経済学部経済学科主任)
前川俊一教授
(不動産学部)
白野伊津夫教授
(ホスピタリティ
・ツーリズム学部)
鈴木陽夫教育後援会会長
篠原康光副会長
(編集委員長)
谷昭夫副会長
宇田川芳子副会長
綿屋美知世幹事
(編集委員)

2005年度 明海大学浦安キャンパス学友会 サマーキャンプ

主催：明海大学浦安キャンパス学友会
後援：明海大学浦安キャンパス教育後援会・明海大学浦安キャンパス同窓会



2005年9月5日から7日までの3日間、静岡県下田市で2005年度明海大学浦安キャンパス学友会サマーキャンプが行われた。参加者は、小倉洋英学友会会長をはじめとした学生約210人(内留学生60人)、高倉翔学長をはじめとした教職員約60人。教育後援会からは、鈴木陽夫会長、宇田川芳子副会長、金子恵美幹事、大塚勝明幹事の4人が出席。その他同窓会幹事

や海外協定校から大邱科学大学名誉教授の劉相鐘氏、釜山外国語大学からは鄭起永弘報・対外協力室長ら6人を招き総勢約300人となった。

サマーキャンプの目的は、①本学の発展②本学や学生生活に対する意識や関心の向上③学生の生の声を大学に訴えかける④課外活動の紹介・推進⑤参加者同士の相互理解や意見交換の場とし、これらの目的のもと学生(日本人学生、外国人留学生、課外活動参加生の委員会、部活動、学生会、同好会、サークル、学科代表等)教職員等が一丸となり、明海大学が明海大学に関わる全ての人のために、より良いものになるためにはどのようなになれば良いのか、我々はどうすれば良いのかを話し合う研修会となっている。

出発前、浦安キャンパス大講義室で出発式が行われ小倉学友会会長は、「大学教職員、学生、同窓会、教育後援会の方など、皆さんが一堂に会して話し合う機会は年に一度しかありません。明海大学には約6500人がいますが、皆さんは代表として参加するので、積極的に会議に参加し発言してください。また、多くの人と出会う機会となっていますので、一人でも多くの友人を作り帰ってきてください」と話した。

ホテルに到着後全体会が行われた。まず、成瀬副学長が、「今回のメインテーマはLet's make meikai University. この研修会に参加した皆さんは、明海大学をより良くしていくことと

の思いが集まったかと思えます。学生と教職員が一つになつて一生懸命大学の発展に尽くしていただきたいと思っています」と挨拶。

続いて鈴木陽夫教育後援会会長は、「この会は大学に対する帰属意識を高める機会だと思っています。今年にはメインテーマのもとにあげられた4つの議題について話し合いが行われます。より良い明海大学を目指して十分討議を行っていただき、学生の皆さんには活発な意見や提案をしていただくことを期待しています。また、今回は60人以上の留学生が参加していますが、話し合いを通じてお互いの国を理解し、理解を深めていただきたいと思います。教育後援会も微力ながらお役に立ちたいと思っています」と話した。

分科会では、①就職率を上げるには、②課外活動の教育的評価(単位認定)について、③施設についてのAは体育会系施設と学生生活向上のための施設について、Bは文科系施設と学生

生活向上のための施設について、④留学生の同窓会についての4つの議題のもと18班に分かれ2日間にわたり話し合いが行われた。

高倉学長は挨拶の中で、1970年大阪万博の年に明海大学の前身、城西歯科大学が誕生し、19

88年のソウルオリンピックの年に明海大学浦安キャンパスが誕生。1992年のバルセロナオリンピックの年に日本初の不動産学部が開設するなど、明海大学は歴史の区切りとなるイベントの年に大きく前進してきたことを説明。「そして2005年愛地球博の年にホスピタリティ・ツーリズムが開設しました。愛知万博のテーマは「自然の英知と調和」です。明海大学の英知。その推進役は皆さんです」と話された。

「笑顔をあふれた3日間」が第18回明海祭開催のテーマ。学園祭実行委員会が4月にテーマを決定し、人気歌手175名のメンバーが4月にこの学祭を目標に笑顔で大切にしてがんばってきたので、来場した人皆に笑顔で帰ってほしい」と、権藤宏樹学園祭実行委員会会長。

オープニングセレモニーでは、高倉学長が「さすがが笑顔で、学祭に訪れる人を迎え、明海祭を盛り上げてください」と挨拶。その後、チアリーディング部の華やかな演技なども行われた。

ぬいぐるみを両手に高倉学長があいさつ

鈴木教育後援会会長があいさつ

初日は、笑顔というテーマにふさわしい快晴となり、キャンパスに作られたメイン会場では、たこ焼き、焼きそばなどを販売する、模擬店がずらりと並び、訪れる人を楽しませた。中国・台湾・韓国の留学生会では各国の自慢料理を販売、中国留学生会の黄良さんは「売っている餃子、小籠包などは手作り。3日前から準備しました」と話していた。また、今年好評だったのがフリーマーケット。今回は学内の芝生の丘で開催され近隣の市民も多数参加した。学園祭実行委員会の高橋舞さんは、「広々とした人の出入りしやすい会場で開催できたこともあり参加者からも好評です。お天気が良かったこともあり、大盛況で終わりました」と話していた。

「笑顔をあふれた3日間」が第18回明海祭開催のテーマ。学園祭実行委員会が4月にテーマを決定し、人気歌手175名のメンバーが4月にこの学祭を目標に笑顔で大切にしてがんばってきたので、来場した人皆に笑顔で帰ってほしい」と、権藤宏樹学園祭実行委員会会長。

初日は、笑顔というテーマにふさわしい快晴となり、キャンパスに作られたメイン会場では、たこ焼き、焼きそばなどを販売する、模擬店がずらりと並び、訪れる人を楽しませた。中国・台湾・韓国の留学生会では各国の自慢料理を販売、中国留学生会の黄良さんは「売っている餃子、小籠包などは手作り。3日前から準備しました」と話していた。また、今年好評だったのがフリーマーケット。今回は学内の芝生の丘で開催され近隣の市民も多数参加した。学園祭実行委員会の高橋舞さんは、「広々とした人の出入りしやすい会場で開催できたこともあり参加者からも好評です。お天気が良かったこともあり、大盛況で終わりました」と話していた。

初日は、笑顔というテーマにふさわしい快晴となり、キャンパスに作られたメイン会場では、たこ焼き、焼きそばなどを販売する、模擬店がずらりと並び、訪れる人を楽しませた。中国・台湾・韓国の留学生会では各国の自慢料理を販売、中国留学生会の黄良さんは「売っている餃子、小籠包などは手作り。3日前から準備しました」と話していた。また、今年好評だったのがフリーマーケット。今回は学内の芝生の丘で開催され近隣の市民も多数参加した。学園祭実行委員会の高橋舞さんは、「広々とした人の出入りしやすい会場で開催できたこともあり参加者からも好評です。お天気が良かったこともあり、大盛況で終わりました」と話していた。

ぬいぐるみを両手に高倉学長があいさつ

鈴木教育後援会会長があいさつ

参加者が一堂に集まった全体会



生活向上のための施設について、④留学生の同窓会についての4つの議題のもと18班に分かれ2日間にわたり話し合いが行われた。

多くの留学生と交流でき良かった。中国文化を教える文化を教えたり、分科会では、大学を変えていこうという思いが伝わりました。来年も参加したい。

「笑顔をあふれた3日間」が第18回明海祭開催のテーマ。学園祭実行委員会が4月にテーマを決定し、人気歌手175名のメンバーが4月にこの学祭を目標に笑顔で大切にしてがんばってきたので、来場した人皆に笑顔で帰ってほしい」と、権藤宏樹学園祭実行委員会会長。

初日は、笑顔というテーマにふさわしい快晴となり、キャンパスに作られたメイン会場では、たこ焼き、焼きそばなどを販売する、模擬店がずらりと並び、訪れる人を楽しませた。中国・台湾・韓国の留学生会では各国の自慢料理を販売、中国留学生会の黄良さんは「売っている餃子、小籠包などは手作り。3日前から準備しました」と話していた。また、今年好評だったのがフリーマーケット。今回は学内の芝生の丘で開催され近隣の市民も多数参加した。学園祭実行委員会の高橋舞さんは、「広々とした人の出入りしやすい会場で開催できたこともあり参加者からも好評です。お天気が良かったこともあり、大盛況で終わりました」と話していた。

初日は、笑顔というテーマにふさわしい快晴となり、キャンパスに作られたメイン会場では、たこ焼き、焼きそばなどを販売する、模擬店がずらりと並び、訪れる人を楽しませた。中国・台湾・韓国の留学生会では各国の自慢料理を販売、中国留学生会の黄良さんは「売っている餃子、小籠包などは手作り。3日前から準備しました」と話していた。また、今年好評だったのがフリーマーケット。今回は学内の芝生の丘で開催され近隣の市民も多数参加した。学園祭実行委員会の高橋舞さんは、「広々とした人の出入りしやすい会場で開催できたこともあり参加者からも好評です。お天気が良かったこともあり、大盛況で終わりました」と話していた。

初日は、笑顔というテーマにふさわしい快晴となり、キャンパスに作られたメイン会場では、たこ焼き、焼きそばなどを販売する、模擬店がずらりと並び、訪れる人を楽しませた。中国・台湾・韓国の留学生会では各国の自慢料理を販売、中国留学生会の黄良さんは「売っている餃子、小籠包などは手作り。3日前から準備しました」と話していた。また、今年好評だったのがフリーマーケット。今回は学内の芝生の丘で開催され近隣の市民も多数参加した。学園祭実行委員会の高橋舞さんは、「広々とした人の出入りしやすい会場で開催できたこともあり参加者からも好評です。お天気が良かったこともあり、大盛況で終わりました」と話していた。

ぬいぐるみを両手に高倉学長があいさつ

鈴木教育後援会会長があいさつ

中国留学生会の皆さん「おいしい餃子はいかが？」



大学前にオープンしたホテルエミオン東京ベイ

うらやすだより 変貌を続ける 新浦安

東京デイズニリーゾットはもろんのこと「マリナーゼ」という言葉ができるなど、新浦安周辺は今、注目のスポットになりつつある。昨年、明海・日の出地区ではパーム&フアウンテンテラスホテル、明海大学前にはホテルエミオン東京ベイなど新しいホテルが

相次いでオープンした。また、シンボルロード先端でも、新しいマンションの入居が始まったのに伴ない、ダイニングバーや、レストラン、パン屋などがオープン。今まで住民以外の人通りが少なかった町並みにもぎやかになった。周

辺の世帯数もどんどん増加しており、小中学校も3校開校する。2月下旬には、スパリゾート施設・湯巡り万華郷が、夏にはスパ&ホテル・WINSLAWA J.A 舞浜ユースラシアもオープンする予定だ。

明海大学浦安キャンパス
教育後援会ホームページ
<http://www.meikai-koenkai.com/>

教育後援会のホームページをご存知ですか。最近では月平均約1100件のアクセスがあります。内容は、教育後援会の概要や事業計画、地区懇談会の報告などをトピックスでお知らせしています。今後もコンテンツの充実を図り、多くの情報を提供していきます。



ESS英語会部長・菊池友さん

ESS英語会

基本的には週3回だが、大会のある時は、月曜から金

ESS英語会は、単なる英会話の研究会ではない。ディベートという一つのテーマを肯定側と否定側に分かれて英語で論じ合うゲームを通じて、英語を読むこと、話すこと、聞くことをより実践的に身につける活動をしている。活動は月曜から金曜まで、夜9時まで活動しているという。会員数は10名。「やる時は集中してやる、メリハリをつけた練習をしています。上下関係なく楽しくやっていますね。学外でも皆で飲みに行ったり、カラオケにいったりしています」と、部長の菊池友さん(不動産学科3年)。



大会で獲得したトロフィーの数々

英語が得意な人たちの集まりのように感じるが、菊池さんは入部当初は英語は苦手な方だったという。文化系サークルに入ろうとは考えていたが、新入生の歓迎会の時、英語をすらすらとしゃべる上級生を見て自分もあんな風にならべつてみたい、と入部を決意した。1年生はまず、上級生の

作ったテーマに沿って日本語でまずスピーチを作りそれを英訳する。その中で、英語の能力だけでなく、テーマについて調べ、研究し、議論していく能力や、広い知識も身につくという。「ディベートが面白いのは、議論について勝敗がつくこと。今年のテーマは『代理出産と着床前診断』でしたが、事前に情報を集め、議論の戦略を練ります。試合で相手と議論を戦わせるのはとても緊張感があります」と菊池さん。ディベート競技は、学生やOBが主体となつた団体が運営している。各大学のつながり非常に強いという。10~15の大学が集まって合同合宿を行っており、明海大も毎年参加している。「他大学と交流しているのと、色々な人がいるのでもの見方が広がります。個性の強い、はっきりとしたの言う人が多いかな」卒業して、就職した人たちも活動に参加し、アドバンスしてくるというタテ



ディベート大会の様子

のつなごりの深さもESSの特長。「OBが卒業しても応援してくれるので、これからも大会でいい結果を出せるよう練習を重ねていきたいです」

クローズアップ



ジョゼ・アントニオ・ヌネス・ダ・シルバ

ブラジル出身。9歳でクラブチームに所属し本格的にサッカーを始め17歳でプロ選手に。ブラジルで活躍した後、日本のチームへ移籍。現役引退後は、川崎フロンターレなどでコーチを務めた。現在、ジェフ千葉に所属している。

小さいころからサッカーと学業を両立させ、社会で通用する人間に育て、引退後の人生まで見据えて教育していくそう。 「サッカーの技術だけでなく、社会で生きていく上で大切なことを学んでほしい」と話す。 「日本の若者は、強くなりたけれど、努力はしたくないという子が多いですね」と監督。そういう子には納得いくまで説明するのだ。 「君は走るの速いけれど、持久力がない。もっと筋力トレーニングをすれば、試合時間中体力がもつ。そうすればもっと上へ行けるがどうするか」と。「きちんと話せば、納得します。そうならばきらいな練習もできるようにするし、120%の努力もできる。努力をすればその先に興味がある。もつとやりたいこと、知りたいことが出てきてどんどんおもしろくなる。だからがんばることは損ではない」と監督。

本学のサッカー部は、昨年、天皇杯全国大会出場まであと一歩という活躍を見せた。「今年の目標は、関東リーグの2部に昇格すること。もちろんいけるとは思いますよ」。そして、「明海大学サッカー部からプロの選手を出したいね」と胸を張った。

がんばることは損じゃない

サッカー部監督に就任した ジョゼ・アントニオ・ヌネス・ダ・シルバさん

今年3月、サッカー部の監督に就任した。ブラジル出身で元Jリーガー、現在はジェフ千葉に所属し、プロチームなどのコーチ経験が豊富だ。「サッカーを通じて青少年の育成をしてみたい」と、本学の招へいにに応じてくれた。母国ブラジルのクラブチームは、「日本の若者は、強くなりたけれど、努力はしたくないという子が多いですね」と監督。そういう子には納得いくまで説明するのだ。 「君は走るの速いけれど、持久力がない。もっと筋力トレーニングをすれば、試合時間中体力がもつ。そうすればもっと上へ行けるがどうするか」と。「きちんと話せば、納得します。そうならばきらいな練習もできるようにするし、120%の努力もできる。努力をすればその先に興味がある。もつとやりたいこと、知りたいことが出てきてどんどんおもしろくなる。だからがんばることは損ではない」と監督。

女子ラクロス部

現在、部員数20名の女子ラクロス部。土曜も含めて週4日大学内のグラウンドで練習を続けている。ほとんどが大学に入ってからラクロスを始めという部員ばかり。まずは、クロスという先にネットのついた棒で、ボールを投げたりキャッチしたりする基本動作を覚えるだけでも大変だったという。



女子ラクロス部の皆さん

歌川さんも、入学してからラクロスを始めました。今まで経験したのは個人競技ばかりだったので、チームでやるスポーツをやりたい、そして、せっかくな大学に入ったのだから、大学生活の中で何か思い出に残ることがしたいというのが入部のきっかけだったそう。練習は、パスキャッ

チなど基礎練習からゲーム形式のものまで、8月に行われる関東ラクロスリーグを目標に、自分たちでメニューを組みながら練習している。昨年の10月にはハワイで行なわれたラクロスの国際大会「ハワイラクロスインビテーション」に出場。OGも含め28名が参加し、カナダやアメリカのチームと対戦。成績は2勝2敗で13チーム中9位だった。このハワイの大会には一昨年から参加し、今年も2回目の出場。教育後援会の援助も受けながら、部員たちは2年かけて資金を積み立て、大会本部や旅行会社との手続きも全て自

分たちの手で行って参加した。「前回は、1勝3敗だったので今年は2勝が目標だったんです。今回は3勝ですね。毎年参加というわけにはいきませんが、卒業生も参加してくれていますので、このハワイ遠征はずっと続けていきたいです」と歌川さん。ハワイでの記念写真には、真っ黒に焼けた部員たちが、笑顔で写っている。皆で協力し、力を合わせた海外遠征は、きっと大学時代のすばらしい思い出になるだろう。



ハワイ遠征時全員で記念写真

部活動紹介

ネパール・日本・アメリカ… 広い世界で 色々なことを知りたい

スレスタ・ルペンドラ・ケマルさん
(経済学科2年)

留学生 インタビュー



ケマルさんはネパールの首都・カトマンズの出身。経営学を学んでから、国際的に活躍できる仕事を目標として、日本語の勉強を始めた。しかし、ネパールで勉強するだけでは、力不足を感じたことや、経済が発展している日本で経済の仕組みを勉強したいという思いから日本への留学を決めた。「日本語の勉強を始めたのは、兄のすすめです。何か英語の他にも外国語を身につけた方が将来的にもいい」と。ネパールでは日本語の

ケマルさんは「日本への留学を決めたのは、兄のすすめです。何か英語の他にも外国語を身につけた方が将来的にもいい」と。ネパールでは日本語の

ケマルさんは「日本への留学を決めたのは、兄のすすめです。何か英語の他にも外国語を身につけた方が将来的にもいい」と。ネパールでは日本語の

ケマルさんは「日本への留学を決めたのは、兄のすすめです。何か英語の他にも外国語を身につけた方が将来的にもいい」と。ネパールでは日本語の

ケマルさんは「日本への留学を決めたのは、兄のすすめです。何か英語の他にも外国語を身につけた方が将来的にもいい」と。ネパールでは日本語の

ケマルさんは「日本への留学を決めたのは、兄のすすめです。何か英語の他にも外国語を身につけた方が将来的にもいい」と。ネパールでは日本語の

ケマルさんは「日本への留学を決めたのは、兄のすすめです。何か英語の他にも外国語を身につけた方が将来的にもいい」と。ネパールでは日本語の

ケマルさんは「日本への留学を決めたのは、兄のすすめです。何か英語の他にも外国語を身につけた方が将来的にもいい」と。ネパールでは日本語の

ケマルさんは「日本への留学を決めたのは、兄のすすめです。何か英語の他にも外国語を身につけた方が将来的にもいい」と。ネパールでは日本語の

2005年度キャリアサポート 年間スケジュール

- <3年生>
 - 4月 マイキャリアゼミナールガイダンス
 - 5月 夏季インターンシップ募集開始
 - 6月 インターンシップガイダンス
 - 7月 コンピテンシー診断テスト開始
 - 8月 キャリアガイダンス①
 - 9月 SPI対策模試①
 - 10月 SPI対策模試②
 - 11月 SPI対策模試③
 - 12月 SPI対策模試④
 - 1月 公務員試験対策スタート講座
 - 2月 夏季インターンシップ
 - 3月 キャリアガイダンス②
 - 4月 コンピテンシー診断テスト開始②
 - 5月 キャリアガイダンス③
 - 6月 女子学生のためのメイク・マナー講座
 - 7月 SPI対策模試⑤
 - 8月 エントリーシート対策模擬テスト
 - 9月 履歴書用写真学内撮影会①
 - 10月 春季インターンシップ募集開始
 - 11月 SPI対策模試⑥
 - 12月 キャリアガイダンス④
 - 1月 留学生就職ガイダンス
 - 2月 履歴書用写真学内撮影会②
 - 3月 インターンシップガイダンス
 - 4月 直前ガイダンス
 - 5月 学内企業セミナー
 - 6月 警察官・消防官受験対策講座
 - 7月 春季インターンシップ
- <4年生>
 - 5月 就職活動見直しセミナー①
 - 6月 学内企業セミナー②
 - 7月 進路状況アンケート①
 - 8月 就職活動見直しセミナー②
 - 9月 学内企業セミナー③
 - 10月 進路状況アンケート②
 - 11月 就職活動見直しセミナー③
 - 12月 仕事探しカフェ
 - 1月 就職必勝倶楽部
 - 2月 仕事探しカフェ

編集委員長 藤原康光

内定者数は 前年同時期を 上回る

就職環境の好転は、はっきりと数字に表れている。厚生労働省と文部科学省が共同で実施した「平成17年度大学等卒業予定者の就職

内定状況調査」(平成17年10月1日現在)によると、大学全体の就職内定率は65.8%で、昨年同時期と比べると4.5ポイントも上回った。男女別にみると、男子は68.1%で昨年より5.2ポイント増、女子は62.9%で3.7ポイント増えている。

今年度から学内の就職活動を支援するコンピュータシステム「ジョブハンター」が稼働して、これまで郵送で行っていた内定報告がネット上でできるようになっているので、単純には比べられないとはしている。しかし、採用数に満たなくても求める人材レベルは

「よね」語学だけにどまらず、日本の考え方や、文化についてももっと知りたい、と大学の課外活動では、茶道部や、環境サークルにも参加したそうだ。「日本とネパールでは、色々なことが違う。ネパールは政治体制も古いところがある。日本は、自分の考え方を自由に考え、行動できる。そこが素晴らしいと思う」と話してくれた。

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

採用増の企業が 増え就職環境は 明るい兆し

景気回復や団塊世代の大量退職(2007年問題)による人材ニーズの増加から、大手企業を中心に新卒採用意欲が高まっているようだ。明るい兆しが見えてきた中で、2006年3月卒業予定の学生たちの就職戦線はどうだったのか、キャリアサポートセンターの山本副センター長に振り返っていただいた。

世の中の動きと同じく、本学の就職状況も、かなり好転している。まだ就職活動中の学生もいるが、最終的な集計はできていないが、「11月現在の内定者数は、昨年同時期よりも120人ほど上回っている」と山本氏。

好結果となったのは、景気が上向いてきたのと、いわゆる2007年問題(団塊世代の大量定年)に備えて、企業側も新卒採用拡大に積極的になったため。確かに本学に届いた求人数も、すでに昨年度を大幅に上回り(前年比25%増で推移)、就職活動中の学生には願ってもないチャンスとなっている。

「よね」語学だけにどまらず、日本の考え方や、文化についてももっと知りたい、と大学の課外活動では、茶道部や、環境サークルにも参加したそうだ。「日本とネパールでは、色々なことが違う。ネパールは政治体制も古いところがある。日本は、自分の考え方を自由に考え、行動できる。そこが素晴らしいと思う」と話してくれた。

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

2005年度の就職戦線

「よね」語学だけにどまらず、日本の考え方や、文化についてももっと知りたい、と大学の課外活動では、茶道部や、環境サークルにも参加したそうだ。「日本とネパールでは、色々なことが違う。ネパールは政治体制も古いところがある。日本は、自分の考え方を自由に考え、行動できる。そこが素晴らしいと思う」と話してくれた。

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

「学外とのジョイントを強化」学外とのジョイントを強化したことも好結果につながったようだ。千葉県の就職支援プロジェクト「ちば若者キャリアセンター・ジョブカフェちば」との共

編集後記
新春を迎え、教育後援会会員の皆様に対しまして心よりお慶び申し上げます。◆本年度の各地区教育懇談会も盛況の内に無事終了いたしました。ご参加いただきました保護者の皆様方には、ご協力ありがとうございました。また、ご都合で参加出来なかった保護者の皆様方には、今号に掲載してありますのでご一読下さい。◆本年度より役員会の内、今後の地区教育懇談会の内容・地域・方法等を検討する分科会を設け、来年度に向けて検討中です。また、本年度各会場で行ったさまざまなアンケートを基に参加率を上げるには、どうしたらいいのか等を分科会の役員が試行錯誤中です。楽しい懇談会ですので、一度参加してはいかがでしょうか。役員一同お待ちしております。